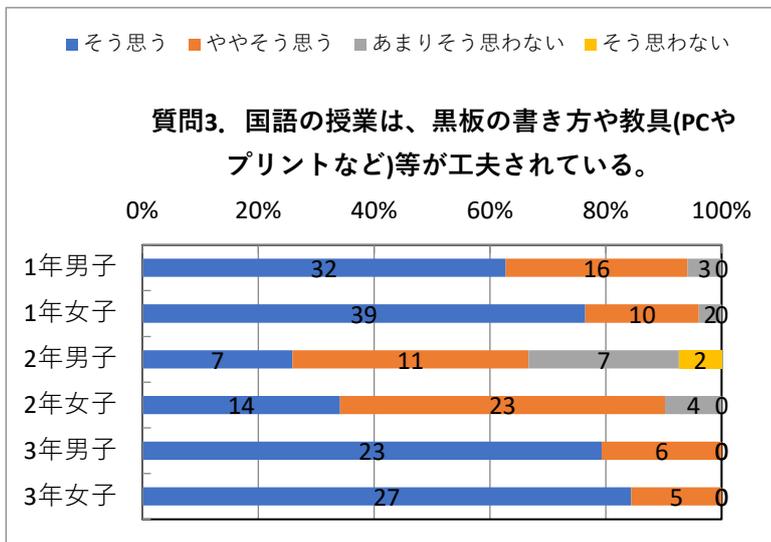
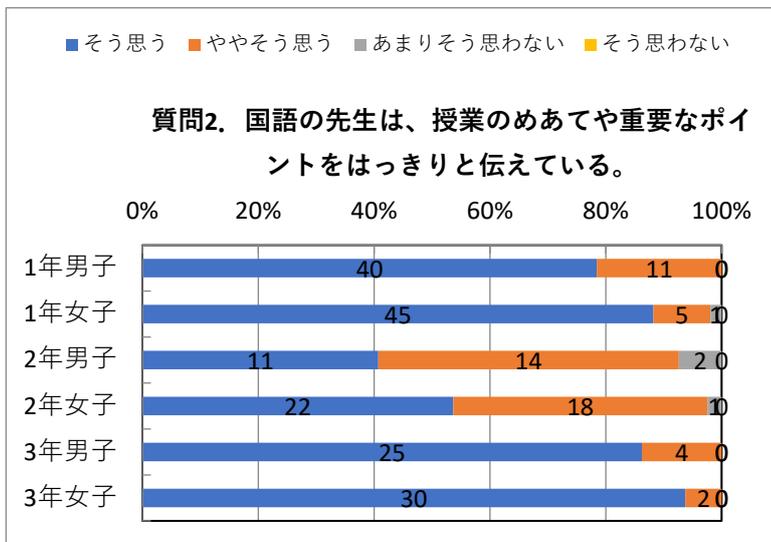
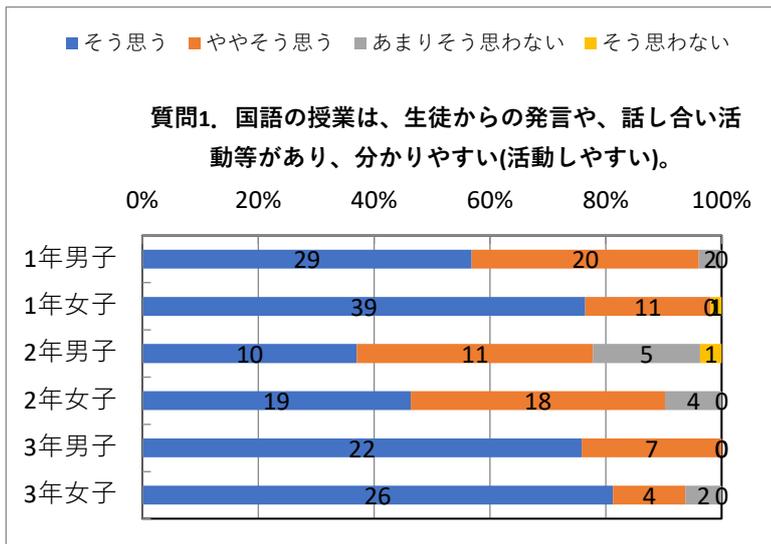


【7月】

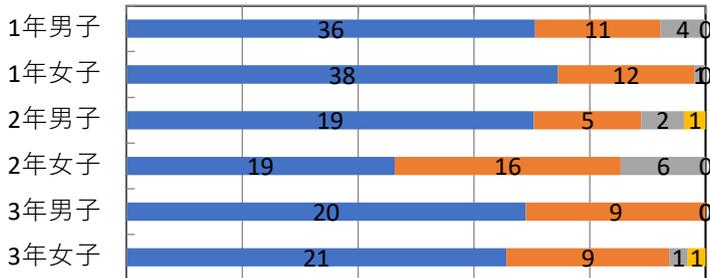
【12月】



■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

質問4. 国語の授業は、授業スピードや声の大きさがちょうどよい。

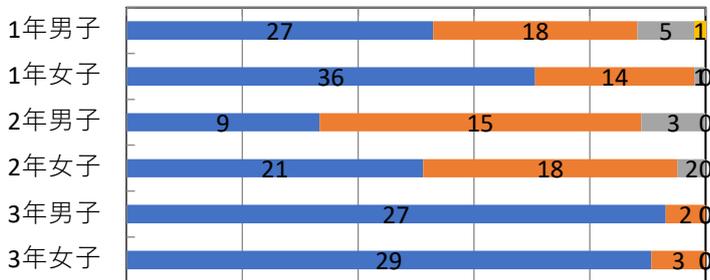
0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

質問5. 国語の授業は、おしゃべり等がなく、真剣な雰囲気である。

0% 20% 40% 60% 80% 100%



【分析】

全体として肯定的な回答であった。「質問1」「質問4」から、生徒の発言・表現から意見交流によって相互理解につながられている実感があり、取り組みやすいペースで授業が行なえていることがわかる。さらに「質問5」から、授業時に実感している集中力の向上が数値として表れている。ただ「質問3」からは、ICT教具の使用が十分ではない現状もわかるため、生徒の関心・意欲の向上につながるためにも、積極的に取り入れていく。

【課題】

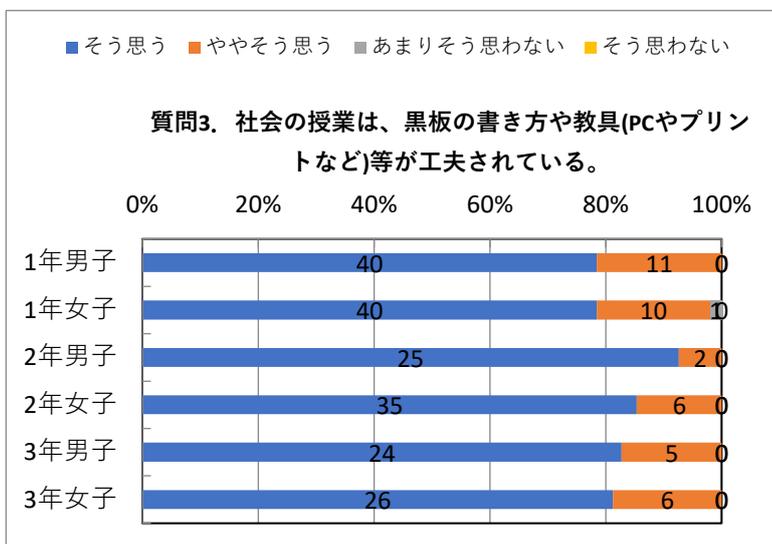
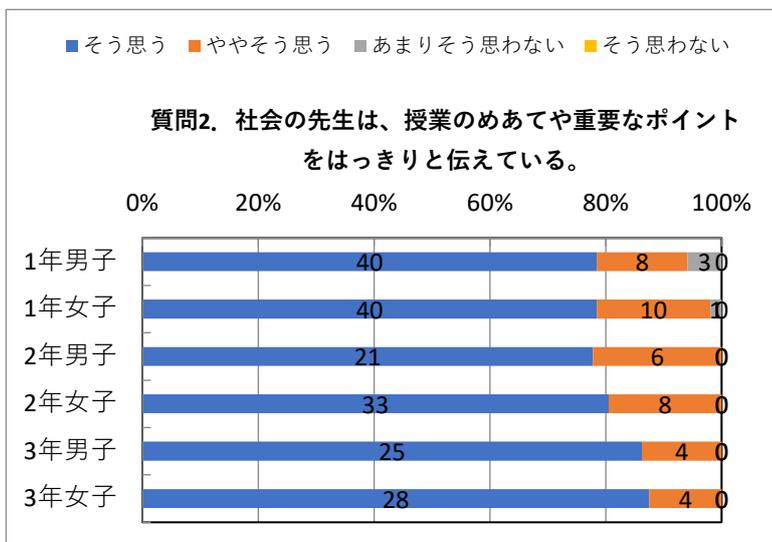
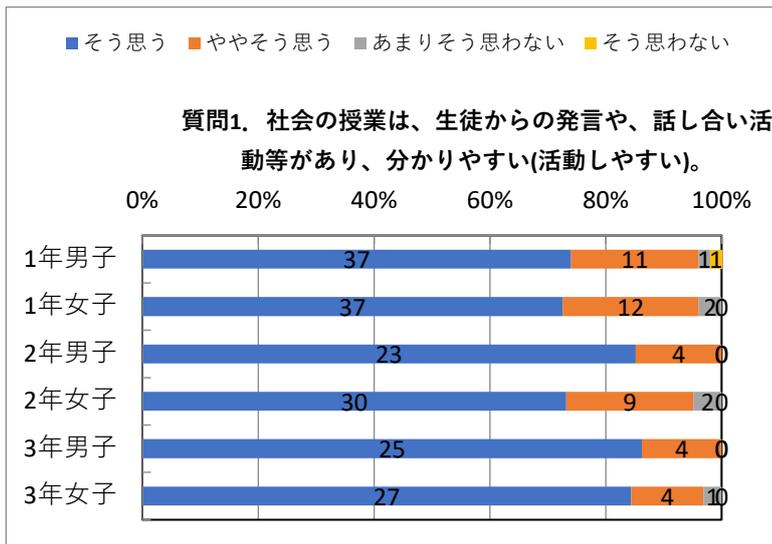
[1年]授業での積極的な発言が多く、他者の良さを取り入れていく向上心も強い。また、重要点を文章化してまとめる力も成長している。「質問5」を踏まえ、今後は活動からの切り替えを的確にできる力を育成する。

[2年]授業での取り組みの姿勢・集中力が、昨年度より向上している。さらに理解の深化に意欲を見せる生徒も多いため、「質問1」の改善につながるように、ICT教具を活用しての授業展開や意見交流に取り入れる。

[3年]授業での思索の精度が高まり、さらに根拠を踏まえてわかりやすく他者に説明する表現力も伸長している。「質問4」にあるように、授業ペースに対応できる柔軟性を磨くため、相互確認の機会の設定を増やし、生徒がより総括的な理解の上で、進捗状況を管理できる能力の育成に励む。

【7月】

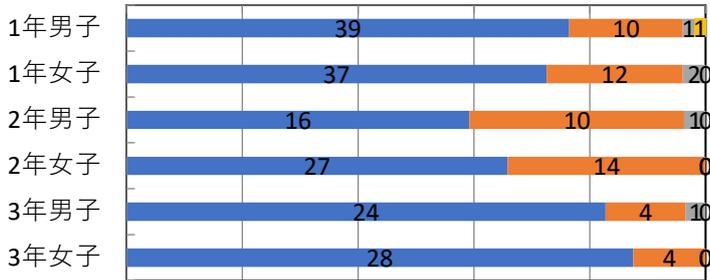
【12月】



■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

質問4. 社会の授業は、授業スピードや声の大きさがちょうどよい。

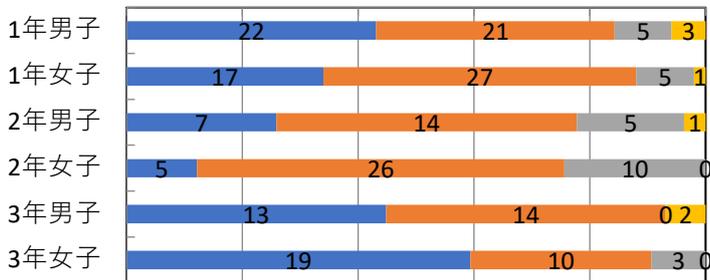
0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

質問5. 社会の授業は、おしゃべり等がなく、真剣な雰囲気である。

0% 20% 40% 60% 80% 100%



【分析】

全体的に肯定的である。「質問1」の結果から、授業内で対話的活動を積極的に取り入れたことで、誰でも積極的に参加しやすい雰囲気作りができていと考えられる。また、「質問2」「質問3」の結果からは、ICT機器を活用することで、各分野における興味関心を高めることができ、生徒にとって分かりやすい授業に結びついていると考えられる。

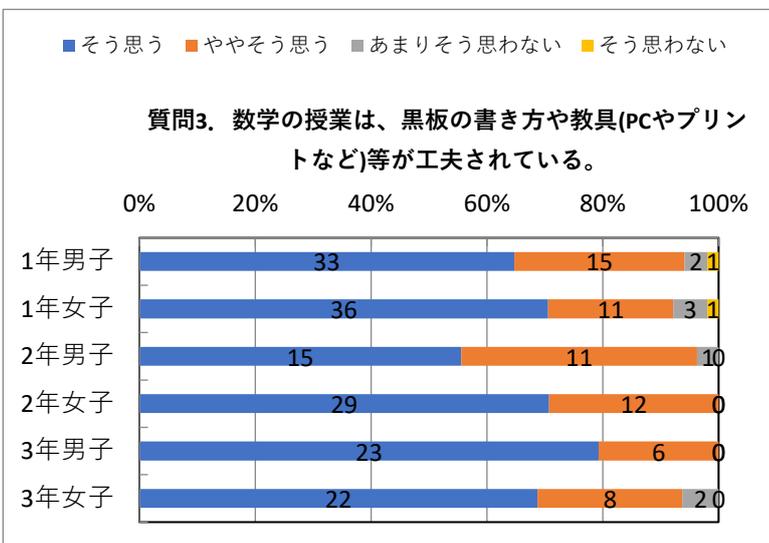
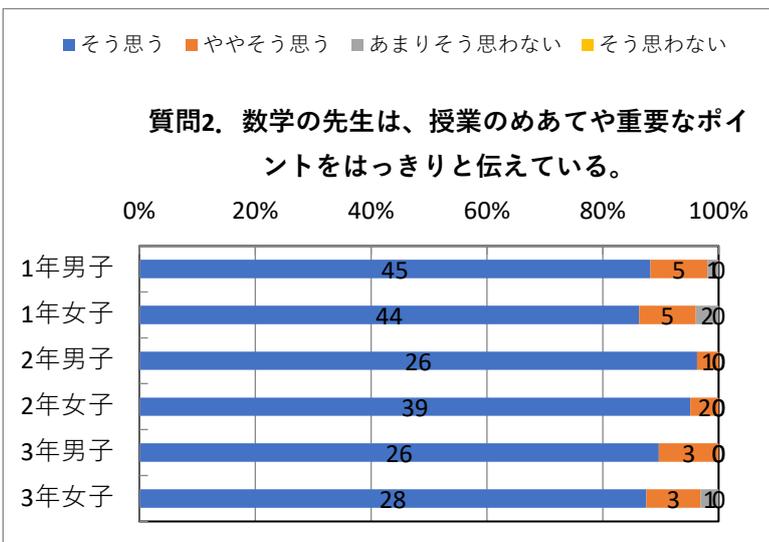
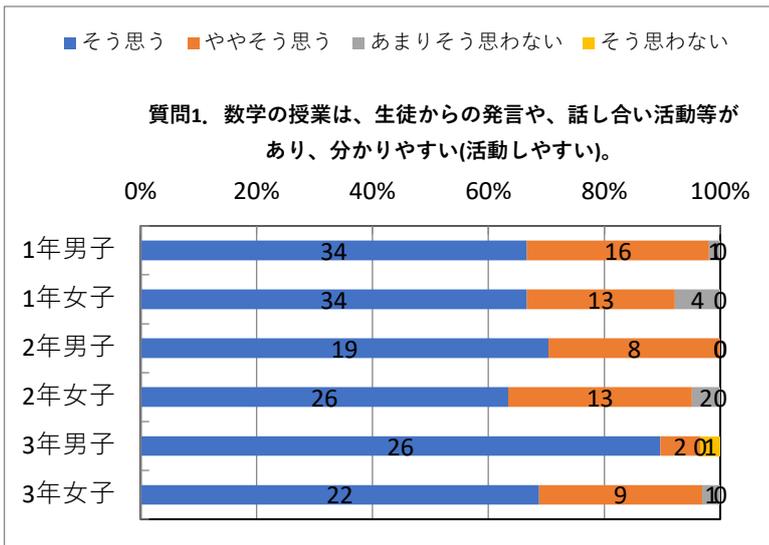
[1年] 「質問5」の結果から、対話的活動や生徒とのコミュニケーションによる授業展開を行っていくために、授業内での切り替えが課題として挙げられる。明確な時間設定や授業展開の工夫に取り組み、メリハリのある授業を実践していく。

[2年] 「質問5」の結果から、授業規律の点で課題がみられる。話し合い活動や意見共有の時間と、そうではない時間の切り替えを徹底し、メリハリのつけた指導を行っていく。

[3年] 「質問5」の結果から、授業規律の点で課題がみられる。話し合いや意見共有の時間と、自分の意見を書く、考える時間とのメリハリを意識した指導を行っていく。

【7月】

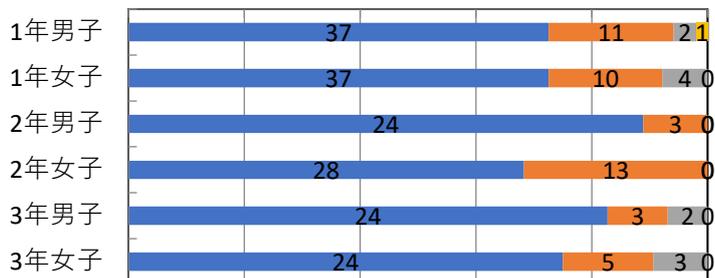
【12月】



■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

質問4. 数学の授業は、授業スピードや声の大きさがちょうどよい。

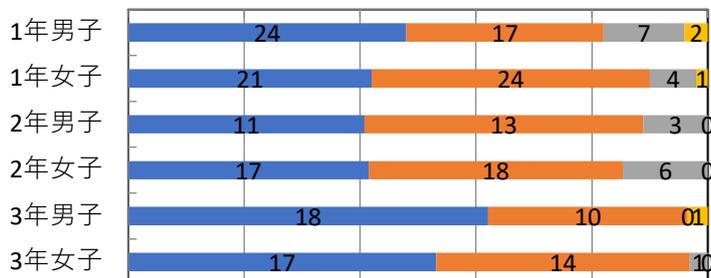
0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

質問5. 数学の授業は、おしゃべり等がなく、真剣な雰囲気である。

0% 20% 40% 60% 80% 100%



【分析】

全体的に肯定的だった。特に「質問2」では「そう思う」の範囲が多く、生徒は授業でのポイントが理解できていると考えられる。また、ICT機器などの教具の活用が生徒にとって分かりやすい授業に結びつくと考えられる。

【課題】

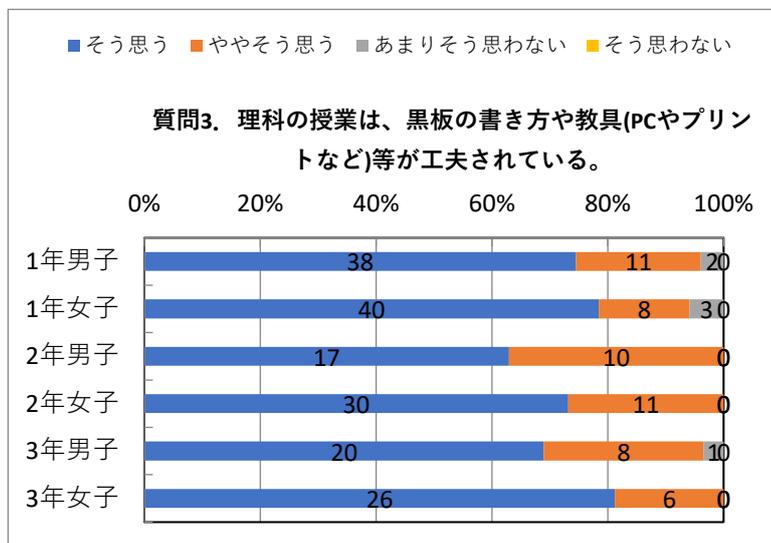
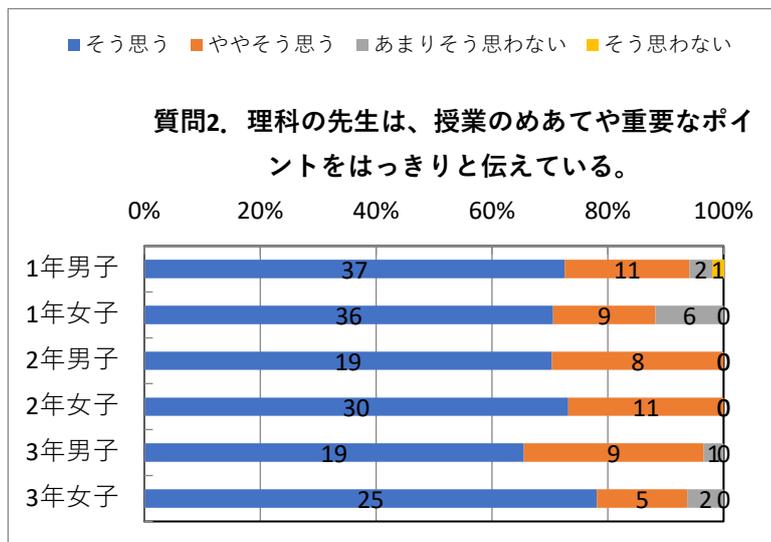
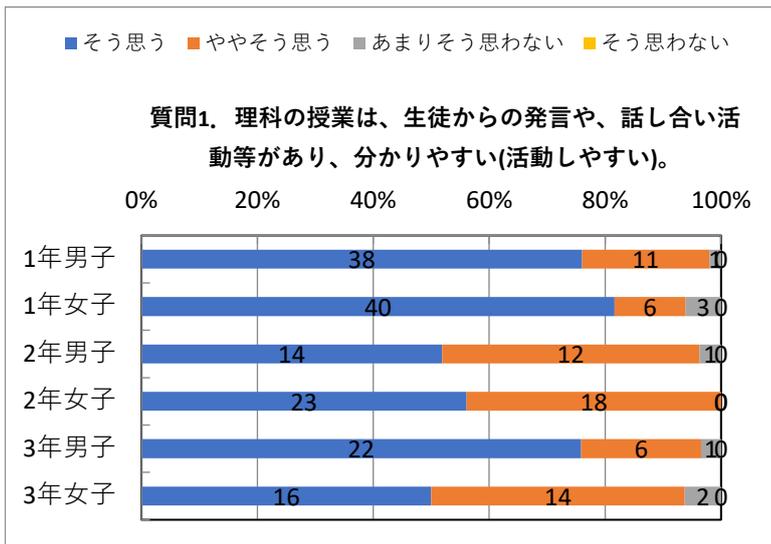
[1年] 否定的評価が多いのが、「質問5」なので、授業規律に注意して授業を行う。

[2年] 男女間で大きく差が表れたのが「質問4」である。授業の中での声量やスピードを、授業中、生徒のノートの様子などから判断し、改善していく。

[3年] 「質問1」では、男女間の違いがはっきりしている。女子が積極的に授業で発言しやすくなるよう、工夫していく。

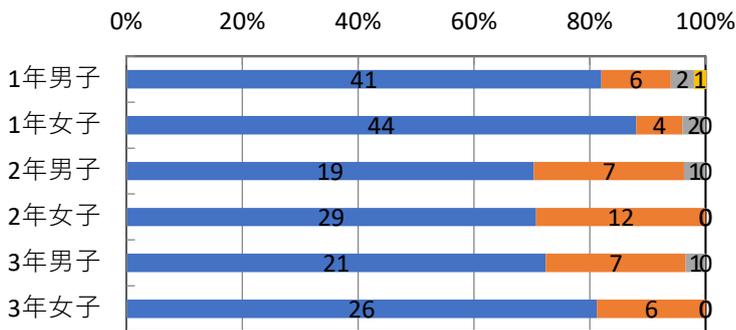
【7月】

【12月】



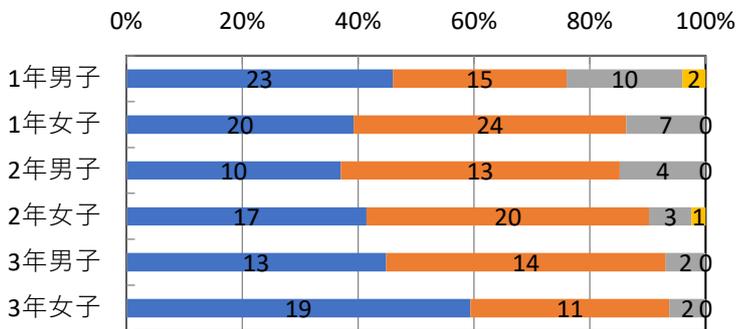
■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

質問4. 理科の授業は、授業スピードや声の大きさがちょうどよい。



■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

質問5. 理科の授業は、おしゃべり等がなく、真剣な雰囲気である。



【分析】

全体的に肯定的だった。特に「質問3」「質問4」では肯定的な回答が97%であり、授業スピードや黒板の使い方は生徒にとって分かりやすいものになっている。

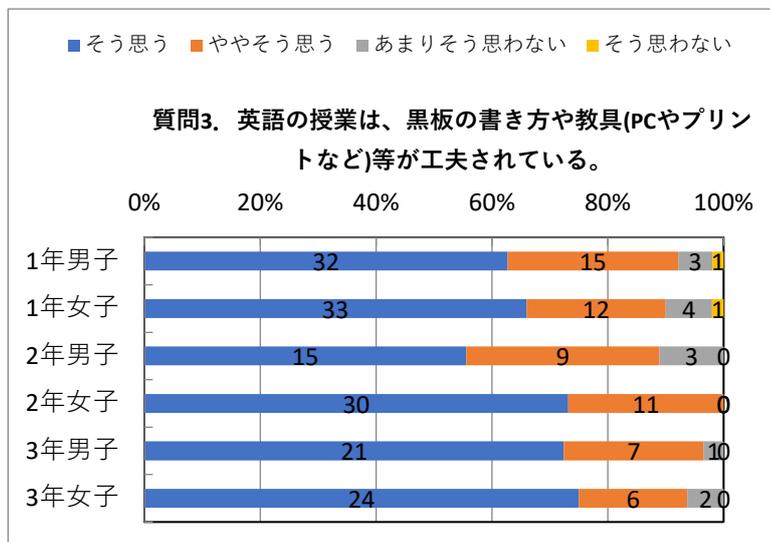
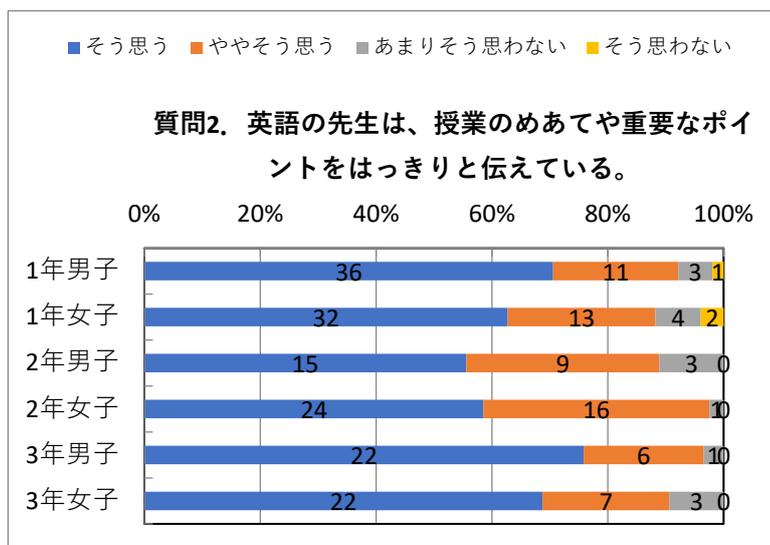
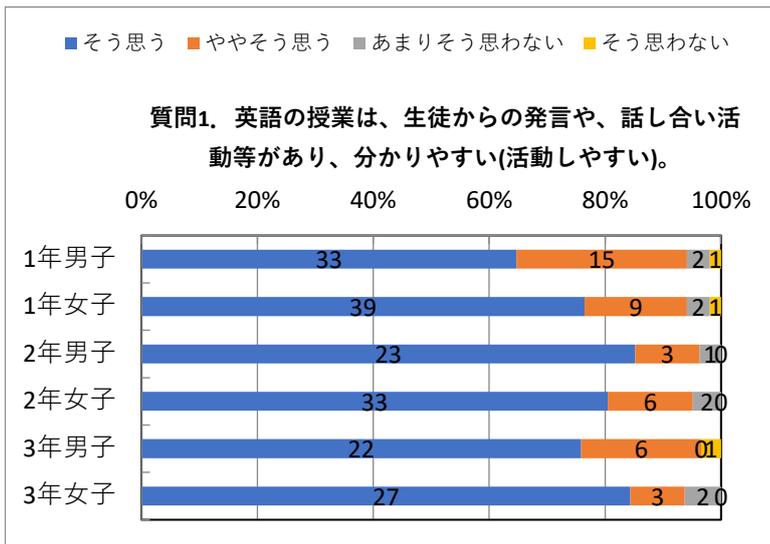
【課題】

[1年][2年]「質問5」の結果、グレーや黄色グラフ（否定的評価）が多かった。「質問1」の結果は否定的評価がほとんどなかったため、話し合い活動を継続しつつ、授業規律に注意して授業を行う。

[3年]「質問1」「質問5」の結果から、話し合い活動や実験などで自分の意見をしっかり述べる場面を多く設定しつつ、授業規律に注意して授業を行う。

【7月】

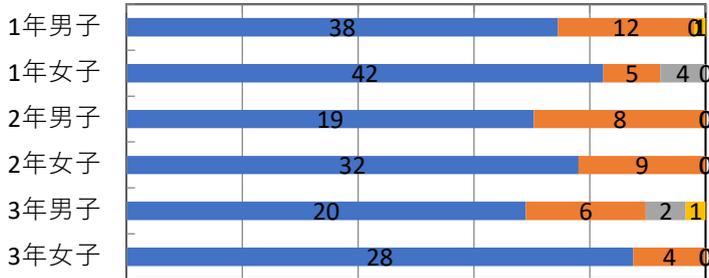
【12月】



■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

質問4. 英語の授業は、授業スピードや声の大きさがちょうどよい。

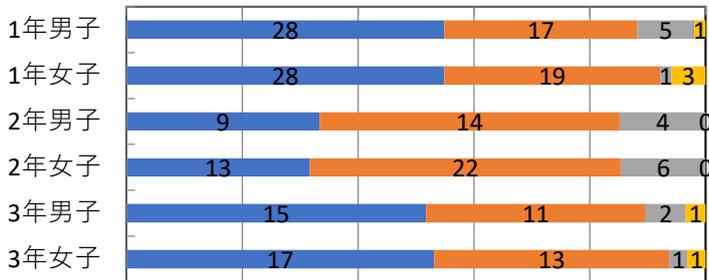
0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

質問5. 英語の授業は、おしゃべり等がなく、真剣な雰囲気である。

0% 20% 40% 60% 80% 100%



【分析】

全体的に肯定的な回答が多い。特に「質問1」では「そう思う」という割合が多く、生徒自身が話しやすい雰囲気作りができていると考えられる。また、ICT機器や視覚教材を多用することで生徒にとって分かりやすい授業に結びついていると考えられる。

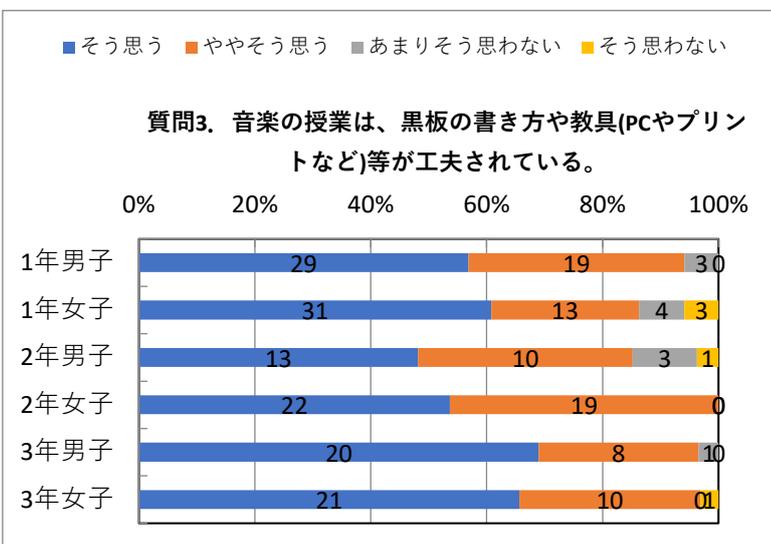
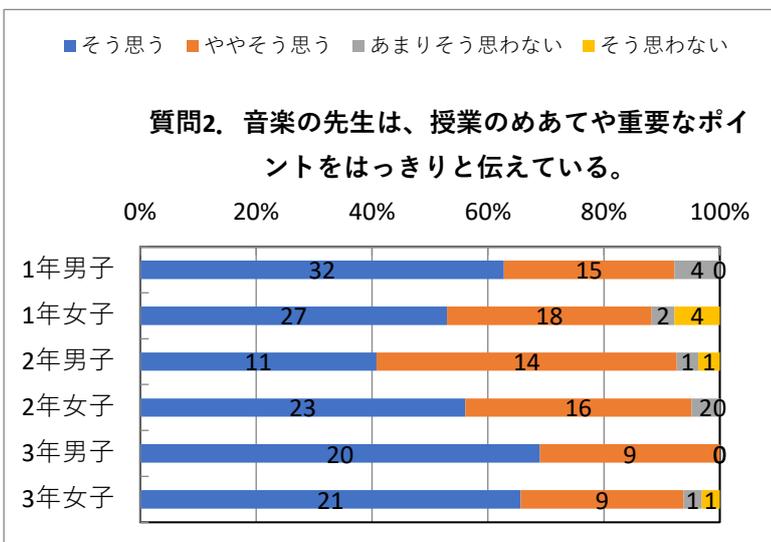
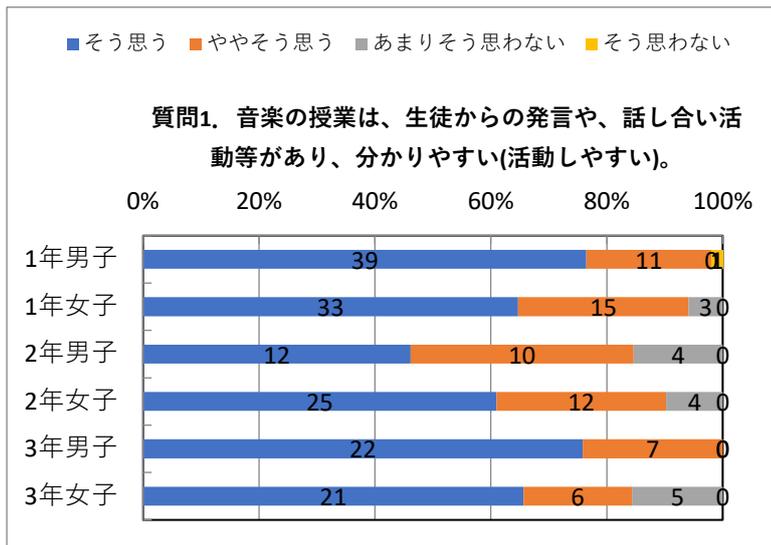
【課題】 [1年]「質問1」「質問4」で男子の方が「そう思う」という割合が少ない。今後はより積極的に声をかけていく。またペアワーク等の組み合わせにも気を付ける。

[2年]「質問5」では、ややそう思うという割合が多い。生徒が話す活動とそれ以外の活動（聞く場面や書く場面）とのメリハリをつけていく。

[3年]「質問3」では「そう思う」という生徒の割合が多い。それが「質問1」の分かりやすい、活動しやすいという結果につながっていると考える。今後もICTや視覚教材を多用し、生徒の理解につなげていく。

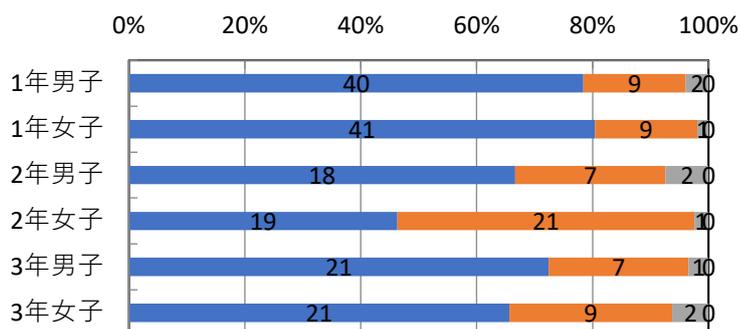
【7月】

【12月】



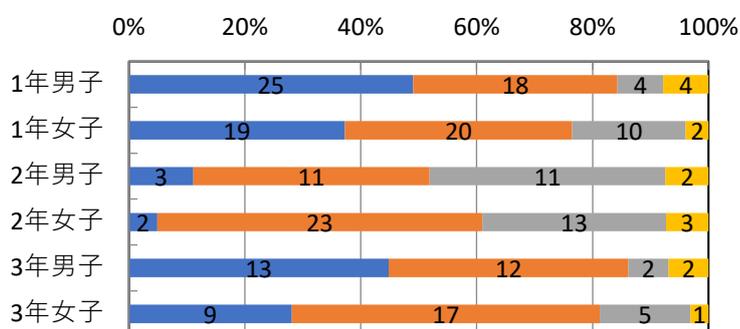
■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

質問4. 音楽の授業は、授業スピードや声の大きさがちょうどよい。



■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

質問5. 音楽の授業は、おしゃべり等がなく、真剣な雰囲気である。



【分析】

全体的に肯定的な回答が多いが、「質問5」は、他の質問と比較して肯定的な回答が少ない。特に2年では半数程が否定的な回答になっている。授業規律において、改善が必要である。ICT機器等の教具の活用やワークシートの工夫等が生徒にとって分かりやすい授業に結びつくと考えられる。

【課題】

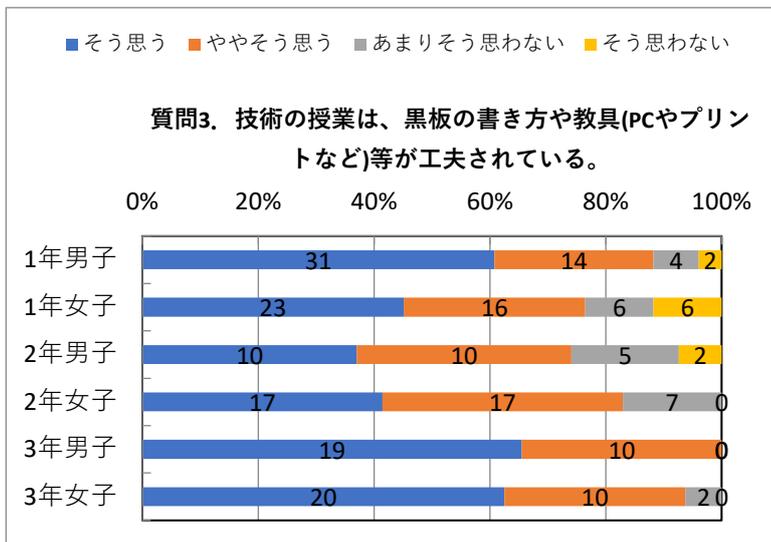
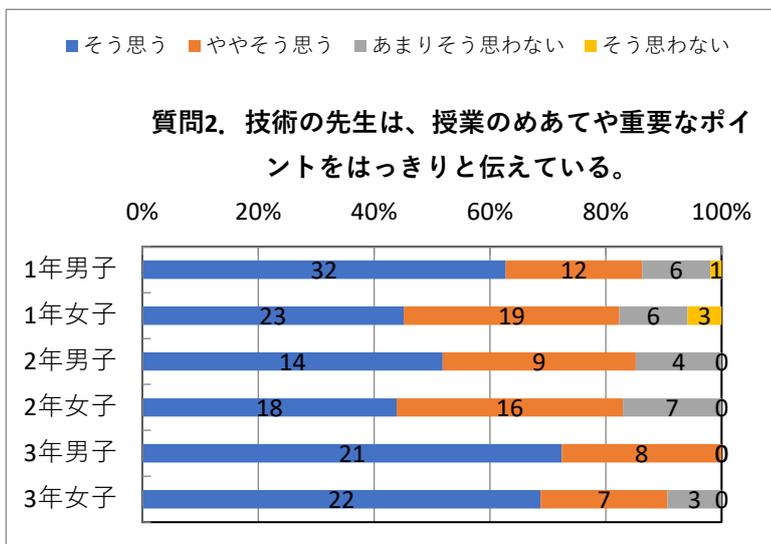
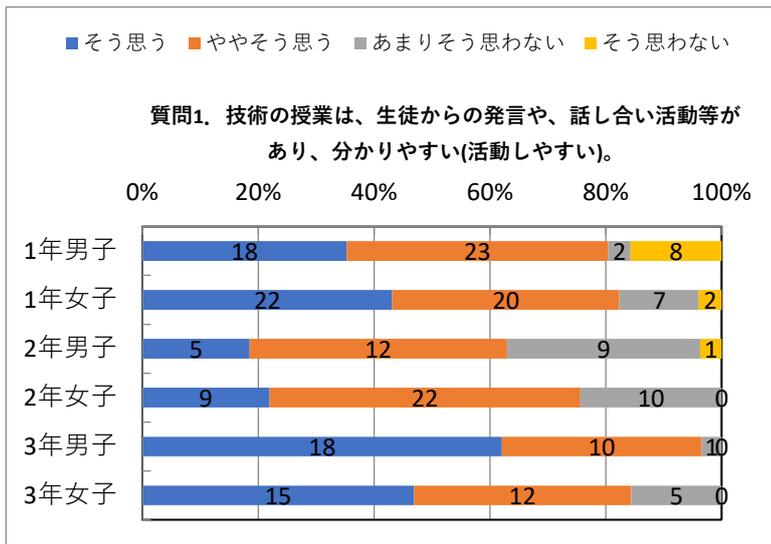
[1年] 「質問2」で、めあてやポイントが伝わっていないことが伺える。授業内で何回も言う等、改善していく。

[2年] 他の学年と比較して、「質問4」では「そう思う」の範囲が少ない。生徒の様子等から判断し、授業のスピードや声の大きさを改善していく。

[3年] 「質問1」では女子からの否定的な回答がある。女子が活動しやすい授業になるよう、工夫していく。

【7月】

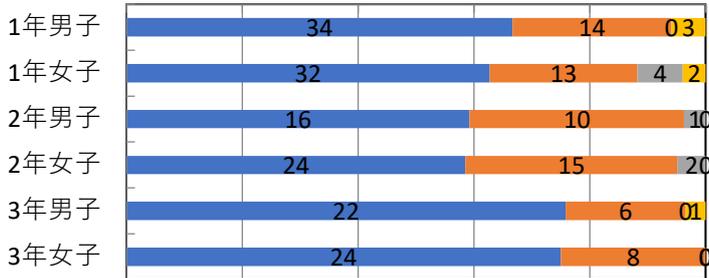
【12月】



■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

質問4. 技術の授業は、授業スピードや声の大きさがちょうどよい。

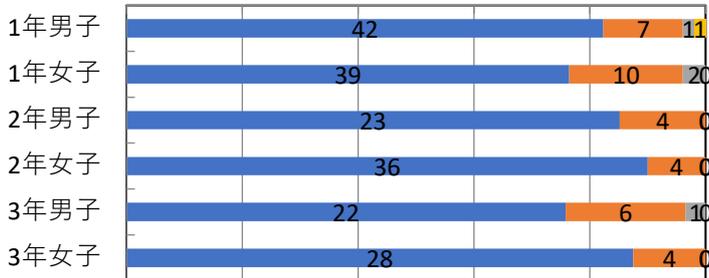
0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

質問5. 技術の授業は、おしゃべり等がなく、真剣な雰囲気である。

0% 20% 40% 60% 80% 100%



【分析】

授業活動がパソコンを使用した個人作業であるため、発言や発表の機会は少ない。集中して授業に臨んでいることが「質問5」からもわかる。

【課題】

[1・2年]

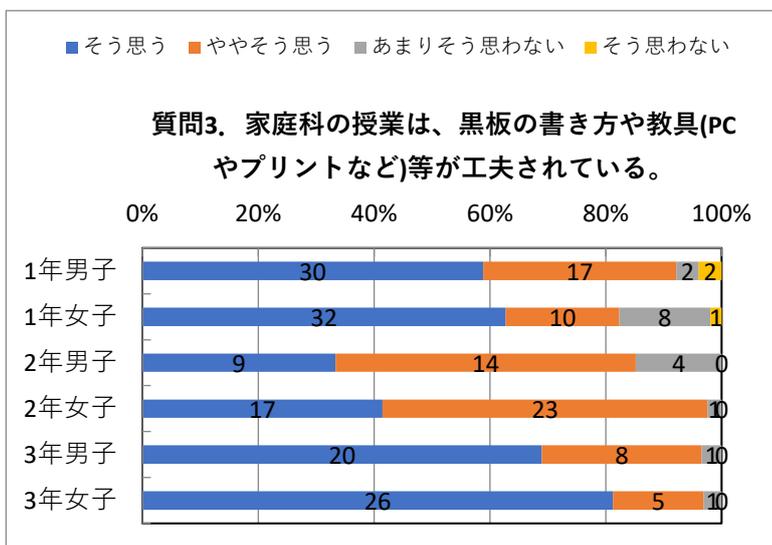
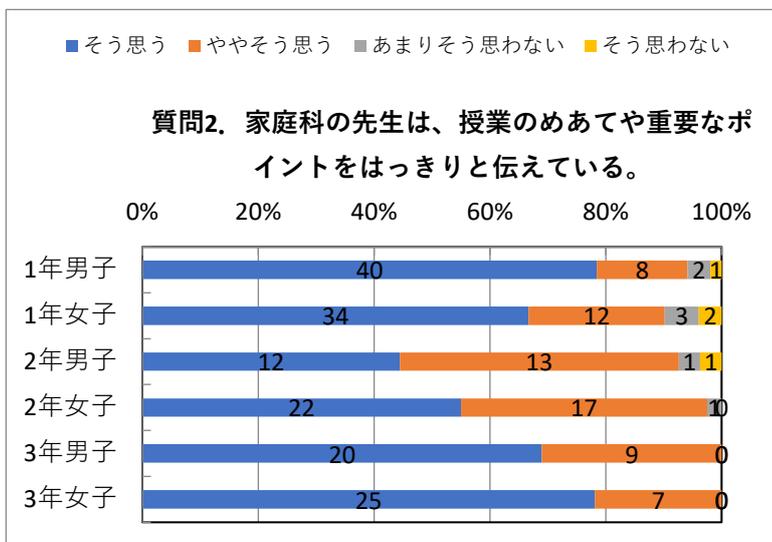
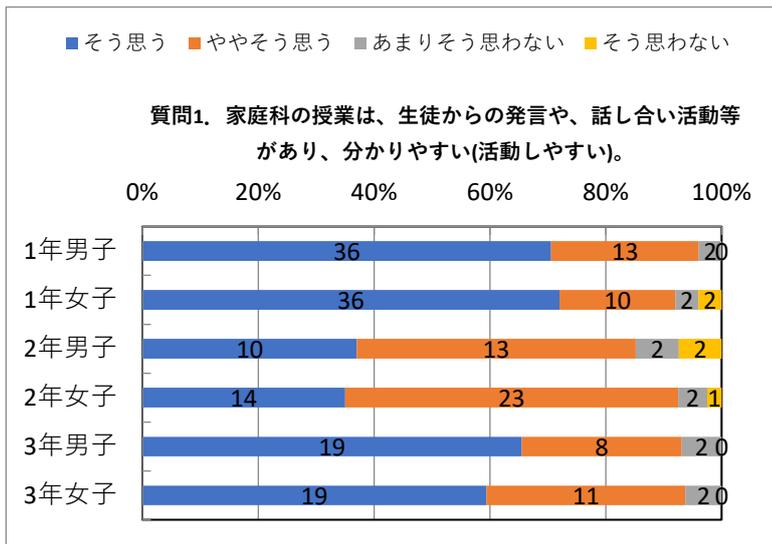
「質問2」の結果から、より明確に授業のポイントを説明する必要がある。大事なポイントを復唱し、全体に周知していく。

[2年]

「質問1」の結果から、生徒同士の発言で作業が進められるよう、大人数の中できめ細かい個別指導をしていく。

[3年]

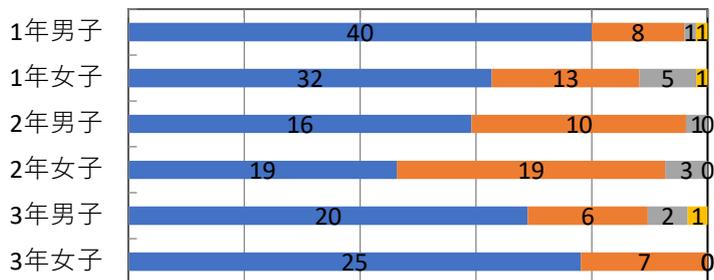
どの質問も肯定的意見が多かった。これからも少ない授業の中で効率的に進める必要がある。



■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

質問4. 家庭科の授業は、授業スピードや声の大きさがちょうどよい。

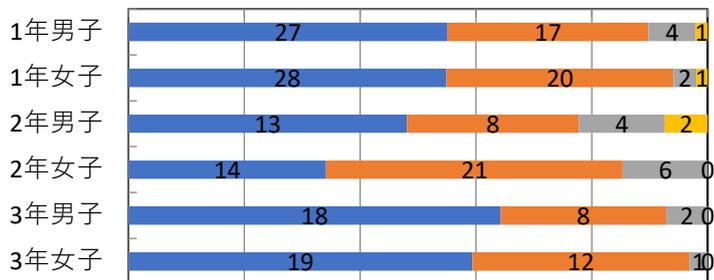
0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

質問5. 家庭科の授業は、おしゃべり等がなく、真剣な雰囲気である。

0% 20% 40% 60% 80% 100%



【分析】「質問3・4」の結果から、当初、班活動を取り入れることができず、プリントやノートでまとめていく授業が中心となり、定着が不十分であった生徒が見られた。板書の工夫や教具の使い方のタイミングを更に工夫していく必要があると考えられる。

【課題】

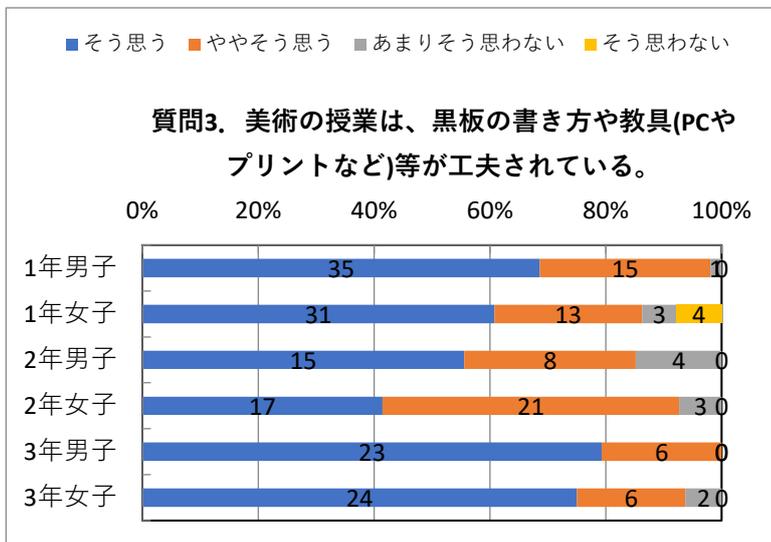
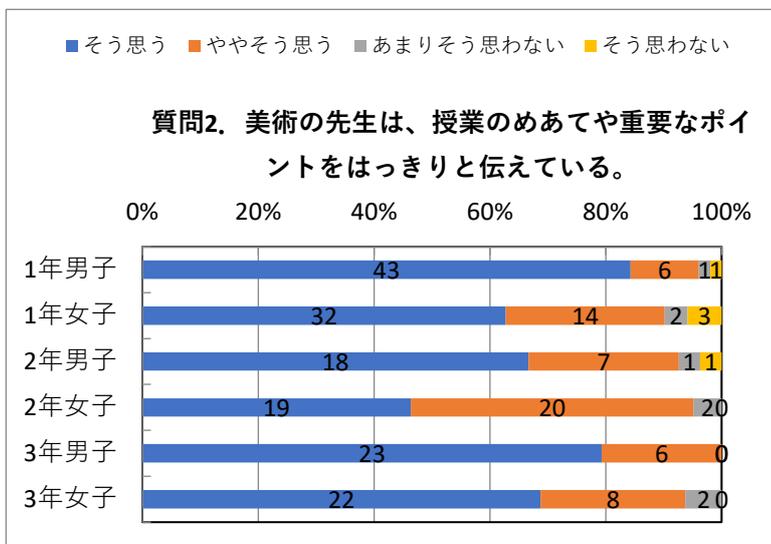
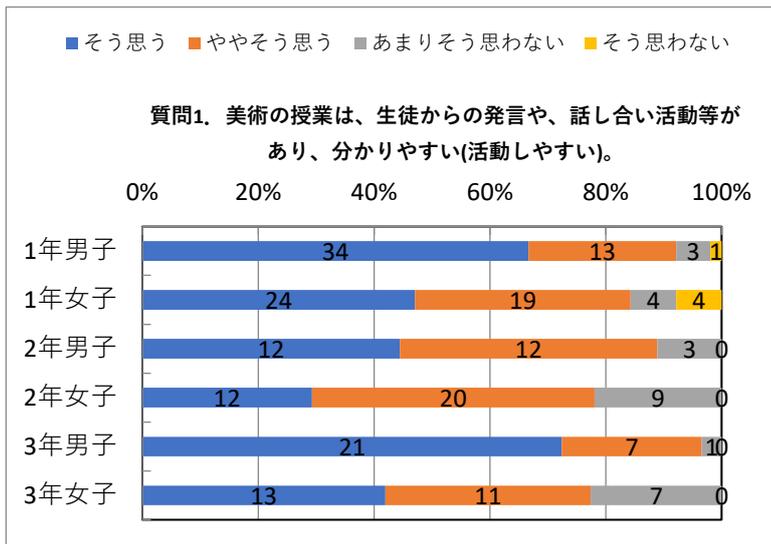
[1年]「質問3」の結果から、理解できないまま取り組んでいる生徒が読み取れる。机間巡視しながら、生徒の把握が更に必要である。

[2年]「質問5」の結果から、授業に集中できない生徒の割合が他学年に比べ多く見られた。作業への取り組み等も含め、更に教具等の工夫をしていく。

[3年]「質問4」の結果から、机間巡視しながら、理解できないまま取り組んでいる生徒への把握を更に心掛けていく。

【7月】

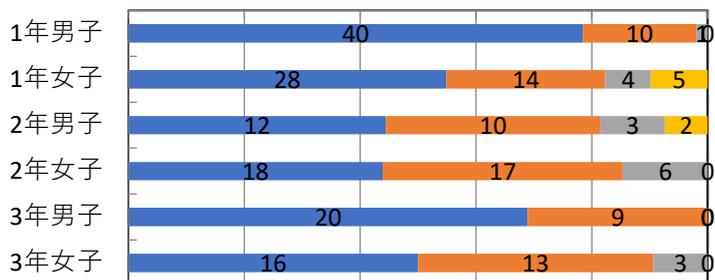
【12月】



■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

質問4. 美術の授業は、授業スピードや声の大きさがちょうどよい。

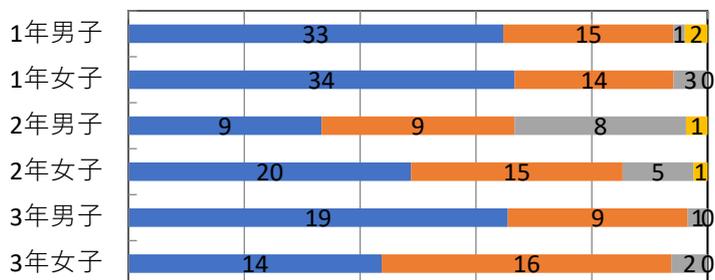
0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

質問5. 美術の授業は、おしゃべり等がなく、真剣な雰囲気である。

0% 20% 40% 60% 80% 100%



【分析】

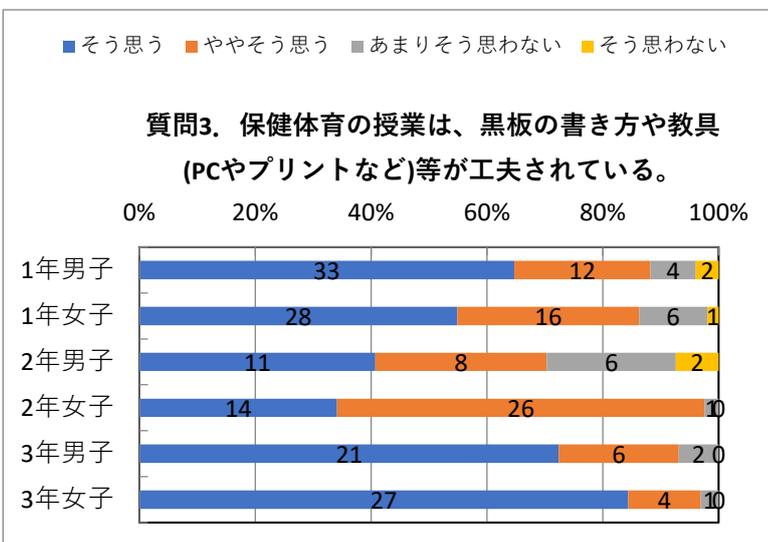
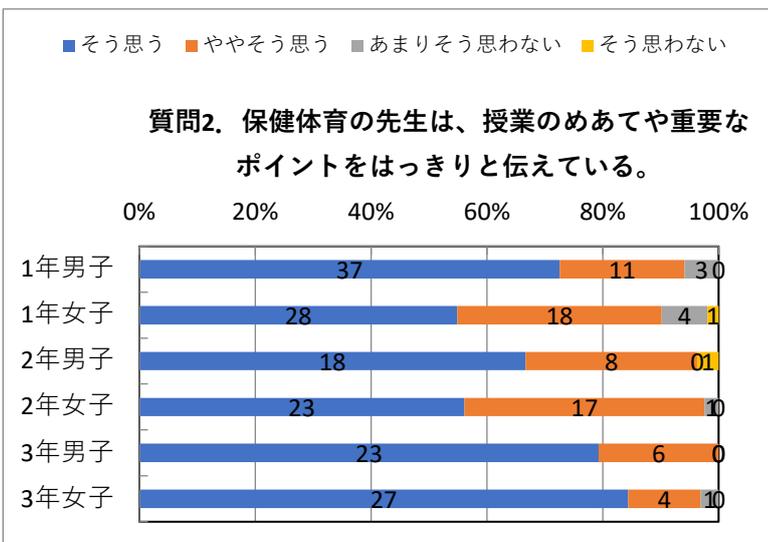
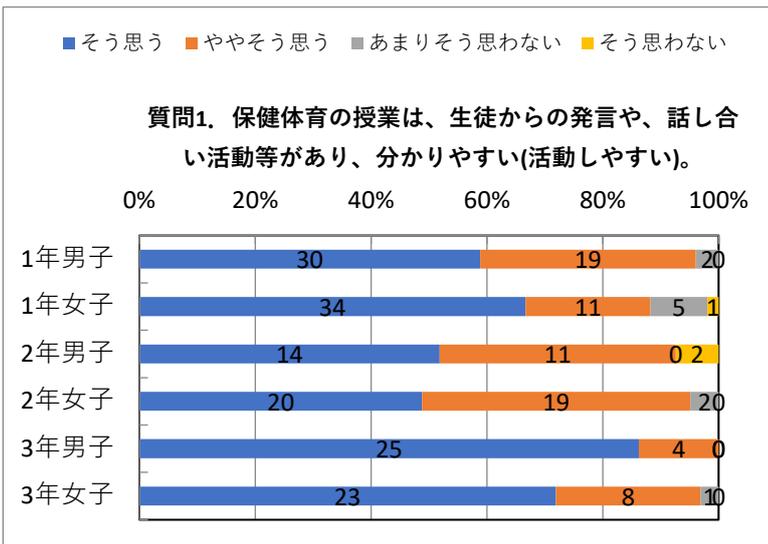
全体として肯定よりの意見が多いが、重要なポイントの提示や授業の意図が伝わっていないケースがあることが分かった。また、授業のスピードが速いを感じている生徒がいることが分かった。

【課題】

[1年]「質問1~4女子」に関して、否定的な意見を持つ生徒が3~5人ずついる。授業観察の中で困り感を見つけ解決していく。

[2年]「質問5」の結果から、授業にいかに関心に向き合わせるかが課題である。授業中の生徒同士の話し合いや、ICT機器を利用し、授業に向かう姿勢の向上を目指す。

[3年]「質問1女子」より、分かりにくさを感じている生徒がいることを把握した。より具体的にポイントを明示していく。



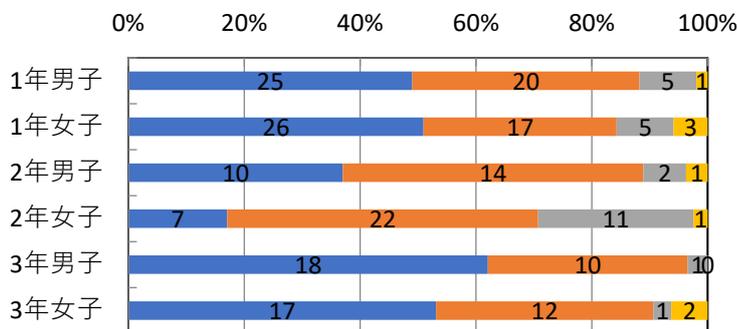
■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

質問4. 保健体育の授業は、授業スピードや声の大きさがちょうどよい。



■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

質問5. 保健体育の授業は、おしゃべり等がなく、真剣な雰囲気である。



【分析】 ほぼすべての項目で80%を超える結果で全体的に肯定的であった。特に「質問4」では、「そう思う」が多く、授業の進度・声の大きさが適切だと考えられる。

【課題】

[1年]全ての項目で否定的な評価が一桁なので今後もこの状態を保ったままより高い質の授業を目指していく。

[2年]男女間で大きく差があるのが質問3である。なので板書や教具の工夫に取り組み改善していく。

[3年]全ての項目で否定的な評価が一桁なので今後もこの状態を保ったままより高い質の授業を目指していく。